

(学校運営協議会・報告様式)

令和4年度 第6回 鼓ヶ浦小学校 学校運営協議会兼学校保健委員会
実施報告書

1 日 時 令和5年2月16日(木) 15:45～17:00

2 場 所 高学年図書室

3 あいさつ

委員長：夙あげ、土曜セミナー等では、家庭や学校とはまた違う表情を見ることができた。公民館の文化祭でも子どもたちの素晴らしい作品を掲示することができた。今後も地域と子どもたちとがつながっていく取り組みを進めていきたい。

校長：今後も地域と連携して教育を進めていきたい。

4 協議内容

○令和4年度「学校評価」について

校長より：学力の向上をはかりたい。子どもたちの様子を見てみると、国語力が心配。重点的に取り組む必要がある。

本校では、SNS 動画視聴時間が長く、読書時間が少ないという現状がある。

担当者より：・学び合う力を育む中で、伝え合う力が身についていないと感じた。来年度は言葉の力をつけていく。

- ・ICT 機器の効果的な使い方について研修を進めるとともに、ネットモラルについての学習も進めていく。
- ・日常的にボランティアさんに支援していただき、子どもたちは地域の方々を身近に感じている。引き続き支援をお願いしたい。
- ・支援の必要な児童について、適宜支援会議を開くことができた。今後もより個に応じた支援ができるよう支援会議を開催していきたい。
- ・いじめ防止アンケートを活用し、いじめや人間関係のトラブルの早期発見と早期対応に取り組んでいく。

(質問・意見)

- ・ICT機器の持ち帰りに不安を感じる。児童が使う機器にフィルタリングはしているのか。また、個々の使用状況について記録は残るのか。発達段階として、興味があるものに夢中になり、自己制御がしにくいと思われる。物理的に使用制限することが必要なのではないのか。
- ・自分には良いところがあるという自覚が持てていない子がいる。互いに言葉で互

いのよいところを伝え合う活動等，自己肯定感を高める取り組みをしてはどうか。また，学校は楽しいと答えている児童が多いことを生かし，楽しい理由を伝え合う時間をもつのもよいのでは。友達によいところ言ってもらえると嬉しいはず。「嬉しい」という経験を重ねていくことが大切なのでは。

- ・夢が持てる子を育てていくことが大切。どんな夢でも成長させていけるよう，地域や学校できっかけを作っていくとよいのでは。
- ・学校へ行きたくないという子どもの声に耳を傾けることが大切。
- ・小規模校のよさを活用し，さまざまな人が子どもと関わり，心の豊かさを育んでいきたい。
- ・不審者情報が届くのに，情報ごとに時間的な差がある。早急に知るシステムが欲しい。
- ・子どもを守る家に鍵がかかっていてすぐに飛び込むことができない現状がある。危険なときにどう対処したらよいのか，子どもたちに実施を伴った訓練があるとよいのでは。

5 情報交換会

- ・公民館より

子どもたちと関わる行事を増やしていきたい。

- ・守る会より

登校時の送りの車に危険な車がまだある。注意喚起する必要がある。

- ・おじさんセミナーより

来年度も土曜学習を行っていく。6月よりスタートする。内容は竹細工。

6 その他

○今後の予定

○令和5年度の学校運営協議会開催予定日について